【北海道コンサドーレ札幌】2024Jリーグ新人研修　クラブ運営サポート活動レポート
田中　克幸、原　康介、出間　思努

2024 年 9 月 10 日(火)、大和ハウスプレミストドームで、田中　克幸　選手、原　康介　選手、出間　思努　選手が、クラブ運営サポート活動の一環として、コンサベース EAST(スタジアム内のグッズショップの一部)の設営を行いました。

■関連部署　株式会社コンサドーレ　MD 事業部

■活動内容:
・グッズ販売場所に関する事前学習
・コンサベースEASTの設営
・選手によるグッズの選択や陳列

■活動目的
・ホームゲーム開催に向けて試合の数日前から設営が始まっていることの実感
・選手がグッズを選ぶことによる売り上げの貢献
・グッズの陳列の工夫と販売に向けたテーマを考案

◎選手のコメント
田中　克幸　選手
グッズの販売に関してしっかりとしたマーケティングを考えていて、僕らの見えないところで深く考えて仕事をしていることにもっと感謝しないといけないと思いました。
もっと協力できることを探して取り組みたいと思いました。
実際に設営をしてみて、まずは素直に楽しかったです。
お客様の立場になってどうすれば商品を手に取るかということを考えることや、売れない商品をどう売るかを考えることができ楽しかったです。

原　康介　選手
商品を売る時期や数など、いろいろなことが考えられていることに驚きました。
実際に設営をしてみて、商品の見せ方をよくすることが難しく、なにげなく並べられているグッズもたくさんのことが考えられ並べられていると感じました。
子ども向けの商品を多くし、子どもたちの手に取りやすいように意識して陳列しました。

出間 思努 選手

試合のグッズの販売について、他のクラブとの比較など事前学習で学ぶことができました。

設営を行ってみて、たくさんのグッズがあり、多くの人たちに手に取ってもらうように並べました。

特に各グッズの品揃いをよくするように意識しました。

今後はグッズの宣伝などに協力していきたいです。

写真提供／北海道コンサドーレ札幌

【北海道コンサドーレ札幌】2024Jリーグ新人研修　シャレン！活動レポート
田中　克幸

2024 年 10 月 16 日（水）、札幌市・札幌市立北園小学校で、田中　克幸　選手が、持続可能な地域作りとしてシャレン　！活動を行いました。

①　地域・社会課題：
・先生以外の大人、職業の方と関わる機会が少ない
・多職業の方の話を実際に聞く機会が少ない

②　協働者：
札幌市教育委員会/札幌市立北園小学校/株式会社コンサドーレ

③活動概要や内容、目的
児童たちの職業への理解を深めるキャリア教育

今回は、児玉　潤　選手、田中　宏武　選手、新人選手の田中　克幸　選手の3名が札幌市立北園小学校に訪問をしました。
選手・スタッフが地元の子どもたちを中心に交流を行う社会連携活動に力を入れようと立ち上げ、今年で13年目を迎える『C-Smile北海道プロジェクト』の一環として訪問、選手との交流を行いました。
総合学習の一環として職業に関する質問や目標を実現するための心構えについての質問が短い時間内で多数されており、特に小学生や中学生の頃の挫折をどのように乗り越えたかという質問やサッカー選手になるために、さらには現在も気を付けている食事についてなど、たくさんの質問があがりました。
中学校への進学を控えた児童の皆さんは積極的な姿勢でプロサッカー選手に向き合っていました。
今後児童たちがコンサドーレをより身近に感じ、今回選手たちからの話をきっかけに、夢を持つことや興味があるものを見つけることができたら嬉しく思います。

◎選手のコメント
田中　克幸　選手
実際に小学生からの質問に答えるだけではなく、その質問から逆に考えさせられることもあり自分自身にとっても勉強になりました。
また、小学生からパワーをもらい、自分も今日交流した子どもたちやたくさんの人たちに勇気や元気、活力を与えられるプロサッカー選手になりたいと思いました。

写真提供／北海道コンサドーレ札幌

【北海道コンサドーレ札幌】2024Jリーグ新人研修　シャレン！活動レポート
原　康介

2024 年 10 月 2 日（水）、札幌市西区・札幌市立西小学校で、原　康介　選手が、持続可能な地域作りとしてシャレン　！活動を行いました。

①　地域・社会課題：
・先生以外の大人、職業の方と関わる機会が少ない
・多職業の方の話を実際に聞く機会が少ない

②　協働者：
西町・コンサ通りまちづくり実行委員会/札幌市立西小学校/株式会社コンサドーレ

③　活動概要や内容、目的
・児童たちの職業への理解を深めるキャリア教育
・練習場近隣の学校に訪問することで、コンサドーレを身近に感じてもらう

今回は、家泉　怜依　選手、近藤　友喜　選手、新人選手の原　康介　選手の3名で練習場から車で5分ほどの場所にある、札幌市立西小学校に訪問をしました。
西町・コンサ通りまちづくり実行委員会主催のもと、練習場近隣の学校への訪問と選手との交流が実現しました。
学校では、体育館に児童たちが作成した、選手の名前入りのボードなどが掲出され、お出迎えをしてもらいました。
児童からは、普段の選手の生活について、どのような小学校、中学校生活を送っていたのかという質問がたくさんあがりました。
選手によるデモンストレーションでは、リフティングを披露する場面や、一部の児童とボールを使って交流もしました。
練習場近隣の小学校ということもあり、今後児童たちがコンサドーレを身近に感じ、練習場に遊びに来る、スタジアムに試合を観に来るといった効果を期待しています。

◎選手のコメント
原　康介　選手
普段感じることのできない子どもの新鮮なエネルギーを感じられてよかったです。
プロサッカー選手になって初めての学校訪問を行い、小学生の嬉しそうな顔を見ることをできてよい機会でした。
子どもの質問にわかりやすく答えることが難しかったので、次の機会には伝え方に気を付けたいと思いました。

写真提供／北海道コンサドーレ札幌

【北海道コンサドーレ札幌】2024Jリーグ新人研修　シャレン！活動レポート
出間　思努

2024 年 10 月 30 日（水）、札幌市西区・札幌市立手稲宮丘小学校で、出間　思努　選手が、持続可能な地域作りとしてシャレン　！活動を行いました。

①　地域・社会課題：
・先生以外の大人、職業の方と関わる機会が少ない
・多職業の方の話を実際に聞く機会が少ない

②　協働者：
西町・コンサ通りまちづくり実行委員会/札幌市立手稲宮丘小学校/株式会社コンサドーレ

③　活動概要や内容、目的
・児童たちの職業への理解を深めるキャリア教育
・練習場近隣の学校に訪問することで、コンサドーレを身近に感じてもらう

今回は、中野　小次郎　選手、白井　陽斗　選手、新人選手の出間　思努　選手の3名で練習場から車で5分ほどの場所にある、札幌市立手稲宮丘学校に訪問をしました。
西町・コンサ通りまちづくり実行委員会主催のもと、練習場近隣の学校への訪問と選手との交流が実現しました。
児童との交流では、3チームに分かれて全員参加で選手とパス交換をしました。
パス交換終了後は、一人ひとり選手と児童がハイタッチをし、チームワークを深めました。
サッカーを通じて仲間と体を動かす楽しさを少しでも感じてもらえればと思いました。
選手への質問タイムでは、普段の生活に関わることやサッカー選手の練習に関して、特に筋トレに関しての質問も多く出てきました。
練習場近隣の小学校ということもあり、今後児童たちがコンサドーレを身近に感じ、練習場に遊びに来る、スタジアムに試合を観に来るといった効果を期待しています。
クラブとしては継続して練習場近隣の学校をはじめとした学校訪問や交流を深めたいと思います。

◎選手のコメント
出間　思努　選手
初めての小学校訪問でしたが、楽しく活動することができました。
子どもたちの様々な質問に丁寧に答えることができよかったです。
子どもたちがわかりやすい言葉で伝える事を意識して質問に答えました。

写真提供／北海道コンサドーレ札幌